

ご協力ありがとうございました

高齢者 戸別訪問

9月～

9月に入り、緊急事態宣言が解除され、新規感染者数も急激に減少していく傾向になりました。また、ワクチン接種率も高まってきたことを踏まえて、見守り訪問活動を再開することにしました。各担当地域の85歳以上の高齢者宅への訪問を始めています。

訪問時には、マスクの着用と手指の消毒をし、できるだけ10～15分以内の対話を心がけ感染防止を最優先にしながらお話をしています。直接高齢者とのお話ができない場合には、ご家族から様子を伺っています。

これからは、対象年齢を下げていき訪問活動の範囲を広げていきたいと考えています。

鳥居本小中学校PTA主催の資源回収活動がありました。今年度第2回目となります。前回に引き続き応援に駆けつけました。昨年度から協力を始め、3回目となるので要領も心得て、スムーズにお手伝いできるようになってきました。小中学校のPTA役員さんや中学生のみなさん、先生方と一緒に気持ちのよい汗を流しました。

第2回 資源回収活動 への協力

11月14日(日)



85歳以上の高齢者宅を訪問



資源回収活動の様子

鳥居本

2022年2月1日
第20号

鳥居本民生委員
児童委員協議会



赤い羽根 共同募金活動の 協力

学区の企業・法人様を対象に、赤い羽根共同募金協力の依頼に今年度も回らせて頂きました。皆様の温かい心が寄せられて、21団体から総額68,000円の募金をして頂きました。ご協力ありがとうございました。集めさせていただいた募金は、地域の福祉活動に活かされています。

車椅子体験 活動の協力

11月26日(金)

鳥居本小学校4年生を対象に福祉学習として「車椅子」体験が実施されました。身体障害者更生会の方々のご指導の下、社会福祉協議会の方とも協力しながら、安全に実施できるよう活動の見守りや支援を行いました。体育館前の舗装されていない地面や傾斜のある道を車椅子を押しながら体験する子どもたちに寄り添い、相手を思いやる心が育ってくれることを念じながら、暖かく見守りました。



車椅子体験の様子。安全に実施できるように見守りや支援をします

ご存じですか？「緊急通報システム」

日常生活に不安を感じる方、ご利用ください。

ある日突然「あー苦しい、痛い！誰か助けて」と体の異常を感じて声が出てしまいそうになるという不安はないでしょうか。体に障害を持つ方や高齢の方は特にその不安が大きいかもしれません。そんなときに役立つ可能性が高いのが「緊急通報システム」です。病弱等により日常生活に不安のある高齢者・障害者のために、こんな制度を彦根市が行っています。

仕組み

緊急通報
システムの
ボタンを押す

緊急通報受信
センターに
つながる

センターから
あらかじめ
登録済みの
協力員に連絡

協力員が駆け
つけてくれて
必要な対応を
行う

利用できる人

- ① 65歳以上の一人暮らしの方
- ② 65歳以上の高齢者世帯
- ③ 一人暮らしの在宅重度身体障害者
- ④ 世帯員が在宅重度身体障害者のみの世帯

費用

月額 **126円**（生活保護世帯は無料）

その他

- ① いざという時に駆けつけてくれる「協力員」（なるべく近隣の方）が3名必要です。2名でも可。
- ② 固定電話がすでに設置済みであること（携帯電話は不可）
- ③ 365日、24時間体制でサポート。
- ④ 月1回、受信センターから健康状態の確認があります。

設置される機器

鳥居本学区では、**現在9名**の方々がこのシステムを利用されています。
申請手続き等詳しいことは、あなたの地域担当民生委員にお尋ねください。



(左) センターと会話ができます。

(右) 首からぶらさげ、室内のみ持ち歩くことができます。

お知らせ

民生委員・児童委員はあなたの悩みの相談員です。
お気軽に声をかけてください。

鳥居本民生委員・児童委員の担当地区

委員名	担当地域	電話番号
会長 北川世司夫	百々、上町、内町（東・西）、山田、ニュータウン	
副会長 川崎 修	中町、下町、旧鳥、矢倉（上・下）、樋の口、男鬼町、武奈町、いぶき寮	
北村 和彦	甲田町（北・南）、宮田町（物生山、馬場、西山）、福通住宅、国産パネ工業寮	
孫工 昌久	笹尾町、荘厳寺町、善谷町、中山町（中山、摺針）、仏生寺町	
西谷 芳子	ビレッジハウス鳥居本、高根	
林 勝美	小野町、原町	
主任児童委員 林 由紀子	鳥居本学区全域	